

小・中学生用（税って何かな？ 基礎編）
～Syllabus～

1. 授業の概要

税の意義、役割を学習し、平等や公平について簡単な例を用いて理解した上で、税を通して社会の仕組みを知る。

2. 到達目標

- 税の使われ方を知り、税が身近にあることを理解させる。
- 平等と公平の違いを理解し、税の種類が多い理由を知る。
- 税の仕組みを決定するのは国民であるということを伝え、積極的に社会に参画する主権者意識を醸成する。

3. 構想

段階	学習範囲	学習内容
導入	税理士とは 税金の意義 税金の役割	・税理士という職業を知ってもらう ・税金のイメージを聞き、使われ方を知り、安心、安全で健康に生きていくために必要であることを説明する。 ・クイズを通し、身近なものに使われている税を知る。
展開	平等と公平	・税の集め方を考えるなかで、平等と公平の違いを理解する。 ・最終的に公平な税制を目指すために税の種類が多い理由を知る。
まとめ	社会と税	・税金を決めるのは税法であり、その税法を決めているのは国民であることを認識させる。 ・選挙権を持つ国の主権者であり、積極的に社会に関わっていく主権者意識をもってもらおう。

4. 展開（タイムスケジュール）

項目	内容	時間
〈導入〉 挨拶・自己紹介 税理士の紹介 税の意義 税の使われ方 ライフイベント 選挙権と主権者	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声で挨拶をする。税務署の人と思われないように 税理士の職業紹介を行う。 税金がどのようなところに使われているかを具体的にイメージしてもらう。 生まれてから死ぬまでに一般的にどのような税にかかわるかを知らせてもらう。 18歳で選挙権を得られることを確認する。主権者として国に参加する権利を得て、その権利を行使し（選挙に行き）しっかりと国の代表を選ぶことの大切さを伝える。 	20分
〈展開〉 税の種類が多い理由 国の現状 税金の使われ方	<ul style="list-style-type: none"> 集め方には4種類あることを説明する。①同じ金額で集める方法②特定の人が負担する方法③同じ率で集める方法④所得が多い人からは多く、少ない人からは少なく集める方法 ここで「平等」≠「公平」ではないことを理解してもらう。 一つ一つの方法を、例を挙げて説明し、理解してもらう。 重要なキーワード「応能負担」「水平的公平」「垂直的公平」「逆進性」「累進課税」「所得税の考え方の説明」「所得の再配分」について意識しながら進めていく。 国の収入の内訳を説明し、公債金の説明をする。現在の国の状況を知り、国に関心を持ってもらう。 国の支出の内訳を説明し、税収だけでは社会保障費等の国の事業を行うことができない状況を知ってもらう。 	20分
〈まとめ〉 授業の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容を振り返る。「平等」や「公平」な税金のた 	5分

主権者意識	<p>めに多くの種類があることや使われ方について再度説明する。</p> <ul style="list-style-type: none">• 18 歳になったら選挙権を得ること、一人一人が国のルール決めにかかわっていること、社会の構成員として社会に積極的にかかわり自分で考え意見を持つことを説明する。つまり主権者意識を持つことの大切さを伝える。	
-------	---	--